



### 総合計画とまちづくりについて

齊藤 貢一 議員



**質問** 第五次総合計画も最終年を迎え、第六次総合計画策定に向けて、総合計画審議会が開かれているが、素案審議だけでなく、毎年市長に答申できるように定期的に開催する審議会への移行は可能か伺います。

**答** 官民一体の共創の理念からすると理想ですが、

条例改正、委員への負担、時間的制約等、移行には課題が多いと認識しています。

**質問** 後期基本計画と総合戦略では、人口減少と東京一極集中に対応すべく対策を実施したが、その成果は。

**答** 全国的な問題であり、結果が伴ったとは言えませんが、今後も総合計画、総

合戦略に基づき推進していきたいと考えます。

**質問** 総合戦略検証委員会については、委員の欠席、代理出席が多く、十分に機能していないと考えるが、委員の選出方法を見直すサイズではないのか。

**答** 国の指導もあり、産業・行政・教育・金融・労働・メディア等を中心をお願いしている状況です。

**質問** 総合計画においても行政計画の意味合いが強いので、市民協働の考えから、

公共計画への移行が必要である。総合戦略においても、柔軟に市民参加の検証組織を立ち上げていただきたい。そのうえで、今後の総合計画の方向性を伺います。

**質問** 総合計画の将来都市像は、第二次から色々変遷してきましたが、それが実

現できたかという疑問です。立地適正化計画やマスタープランの中では、「ウオーカブルなまちづくり」を前面に出しているが、どのような内容なのか。

**答** 歩いても住んでも居心地のよいまちをつくるという考え方です。住宅や商店、職場も集積し、昼と夜の人口バランスを考慮したうえで、中央通り線だけでなく、歴史の小径なども含めて居心地のよい空間をつくっていききたいと考えます。



### 本市のWithコロナ対策について

権田 昌弘 議員



**質問** 公共施設のWiFi整備の現状は、どのようになっているのか。

**答** 向井千秋記念子ども科学館、つつじが岡公園、駅前観光案内所、第一資料館、田山花袋記念文学館、多々良沼野鳥観察棟の合計6か所が整備済みです。

**質問** 公民館のWiFi整

備を行うことになったが、それ以外の公共施設の整備はどうするのか。

**答** 事業目的や事業内容及び利用状況等を考慮し、検討していきます。

**質問** FMラジオを災害発生後に活用する予定だが、平時はどう活用するのか。

**答** スタッフの体制を整

え、テスト放送を定期的に行い、認知度を高める必要があります。ボランティアの募集を行い、研修やイベント時のテスト放送の実施を検討していきます。

**質問** コミュニティFM局を開設する考えはあるのか。

**答** 市民のニーズや機運の高まりと費用対効果を見極めて対応していきます。

**質問** 三密を避けた場所への移転、都心離れの兆しも見えるが、移転等の投げかけは行っているのか。

**答** 産業団地等の事業化を図り、企業誘致に伴う移住定住者の確保に努めていきたいと考えます。

**要望** 工場誘致やコロナ移住は、地域連携、協力が重要であり、移住定住につながるためにも、近隣との連携を強化していただきたい。

**質問** 小規模事業者支援給付金は、国の給付金を申請し、交付された事業者も対象にすべきだと思いが。

**答** 国の制度対象外の事業者を救済する制度ですの

で、ご理解をお願いします。

**質問** オンライン授業は、不登校の子どもたちやインフルエンザ等での学級、学校閉鎖の際も有効に機能すると思うが、契約は来年3月までになっており、その後はどうする考えなのか。

**答** 活用の状況や先生方、児童生徒、保護者からの意見を加味し、来年度以降の継続を検討していきます。

新型コロナウイルス感染症重点対策「政策パッケージ」第3弾 情報へのページはこちら

